地域ごとのまちづくり計画
（小浜小学校区まちづくり協議会）

（0122 確認パブコメ用）

まち協

自主と自立のまちづくり 小浜

令和２年（2020 年）○月作成

目　次

【はじめに】……1

【現状と課題】……1

【地域（まち）の将来像】……5

【基本目標】……5

【具体的な取り組み】……7

【あとがき】……11

【資料】……13

【はじめに】

私たちのまち「小浜小学校区」は、『江戸時代に寺内町として栄えた頃の歴史遺産を受け継ぐ地域』・『同和対策事業対象地域』・『阪急宝塚線沿線に新しく開発された地域』がある。校区を横断するように、中国縦貫自動車道が走っている。

1996（平成 8）年 3 月に小浜小学校区まちづくり協議会は立ち上がった。2005（平成 17）年に【自主と自立のまちづくり】を目標にまちづくり計画を策定してから 10 数年が経過した。高齢化や防災・環境保全・人権教育など、さまざまな社会の動きがある。このたび、社会の変化に対応して、私たちのまちのあり方や今後の住民活動の指針となる【小浜小学校区まちづくり計画】を策定することにした。

校区の北側には、まいたに人権文化センター・米谷保育所があり、南側には、小浜小学校・小浜幼稚園、市立病院・第一病院、健康センター、保健福祉サービス公社など、保健・医療・福祉の施設が集積している。

【現状と課題】

小浜小学校区の人口は、8,697 人（2019（平成 31）年 3 月末現在）で少しずつ減少している。一方で 14 歳以下の子どもの人数は、ここ 3 年は増減している。高齢者の人数も増えており、高齢化率が 30%を超えている。校区内に立地している事業所への調査でも、ほとんどの事業所から「一人暮らしの高齢者が増えているので、見守り合うことが大切だ」との回答があり、「車イスの人やベビーカーを押して歩いている人が安全に通れる道であってほしい」「要介護になっても、地域とのつながりが持ち続けられるような工夫が必要だ」との回答も多く出された。

小浜小学校区の魅力として、「病院に近い」「歴史がある」「静かなまち」であるとアンケート調査結果が出ている。小学生は、「友達がいる」「小浜小学校」をあげている。校区には、大きな病院が 2 つあり、福祉施設も多数立地し、宝塚市社会福祉協議会や宝塚市保健福祉サービス公社、小浜地域包括支援センターなどが地域に密着した活動を展開しており、誰かに声を発したら、専門家とつながりやすい地域でもある。「小浜まち協会館」、「まいたに人権文化センター」では、講座やサロン・ミニデイサービス、健康体操なども開かれており、居場所づくりの拠点となっている。

困ったところとして、アンケート調査結果では「道路が狭い」「夜はまちの中が暗い」が多くなっている。特に、小学生の保護者からは、通学路の安全対策の充実を求める声が多くだされた。

また、向月町は土地が低くなっているため、集中豪雨などで道路の冠水や家屋への浸水被害が発生することがあり、武庫川決壊時には 5m も冠水すると想定されている。泉町、寿町は高台にはあるものの、地形的な特性から大堀川沿い、安倉上池北西地域を中心に浸水被害の発生が想定されており、「防災」も校区の課題となっている。事業所からも「災害時の対応などで協力できることを検討していきたい」との回答を得ており、事業所との連携を含めて、校区全体での取り組みを進めて行く必要がある。

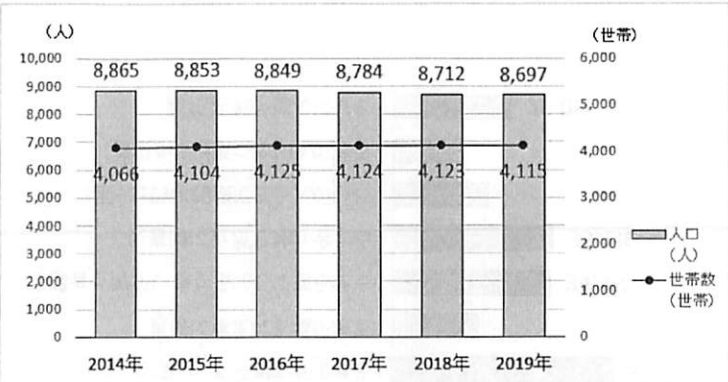
今回のアンケート調査実施に関して、同和対策事業地域をはじめ住民の声が十分に届いていないことは今後の大きな課題である。まだまだ、校区住民間の部落問題学習や人権学習は不十分である。あらためて校区全体で取り組んでいく必要がある。

○地域の課題のまとめ

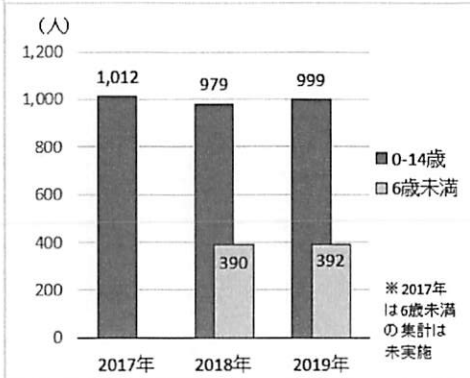
・宝塚市のハザードマップに掲載されている災害危険地域について、行政が主体となって、早急に地域の安全を図る必要がある。
・少子化が進行しており、子どもの居場所の確保や魅力ある子育て環境などを整えること、子どもの安全などの生活環境や教育環境などを充実する努力が必要である。
・高齢化の進行が予想されることから、歩道の改善や公園など、生活環境の充実、移動手段の確保が課題である。
・人権問題に関する教育・啓発の機会が充分ではなく、人権学習は一部にとどまり、住民に広げる必要がある。
・既存の公共施設の設備を充実させ、生涯学習やふれあい学習など地域教育の充実を図る必要がある。
・危険な道路の解消、歩道の整備、街路灯の設置、用水路の整備など日常生活において、生活者が安心して通行できる道路の整備を図る必要がある。
・既存の公共交通機関の駅へのアクセスを充実させるとともに、交通網を整備し、地域住民の利便性を図る必要がある。

小浜小学校区が 10 年後どのようなまちになっていたらよいかについて、小学生にアンケート調査したところ、「子どもが安心して遊べる場・公園がある」「安心して子育てができる」「災害時にご近所で助け合える」「高齢者や障がい者が安心して暮らせる」を希望する声が多くなっている。小学生も「遊べる場所・公園」をキーワードとするまちがたくさん描かれた。「やさしい・仲良し」「笑顔」「行事がいっぱいある」「花や緑」「ゴミがない」「治安がよい」「安全」などのキーワードもたくさん出された。

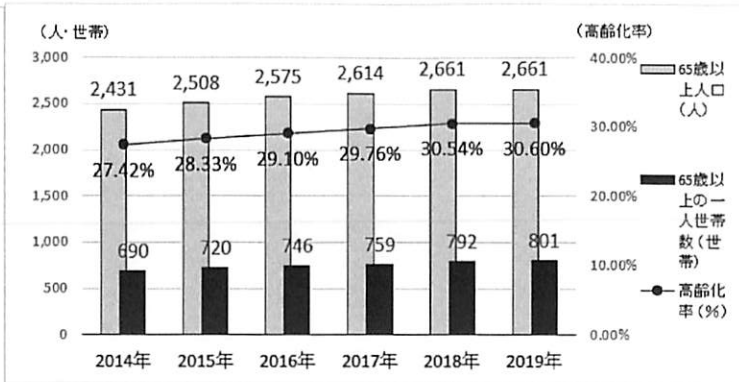
小浜小学校区の人口・世帯数の推移



14 歳以下の子どもの数の推移

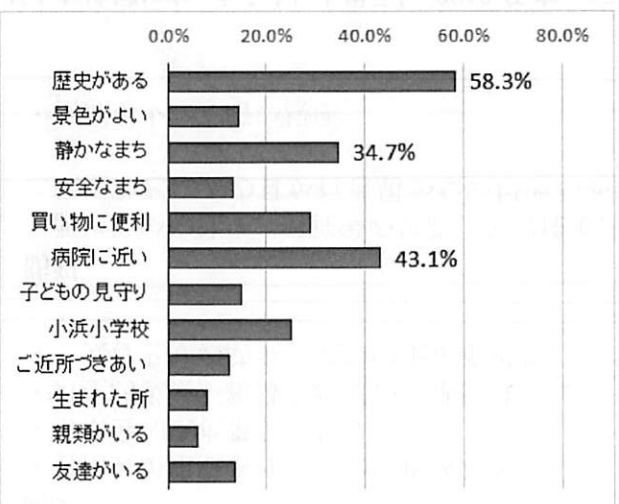


65 歳以上人口・65 歳以上の一人世帯数・高齢化率の推移

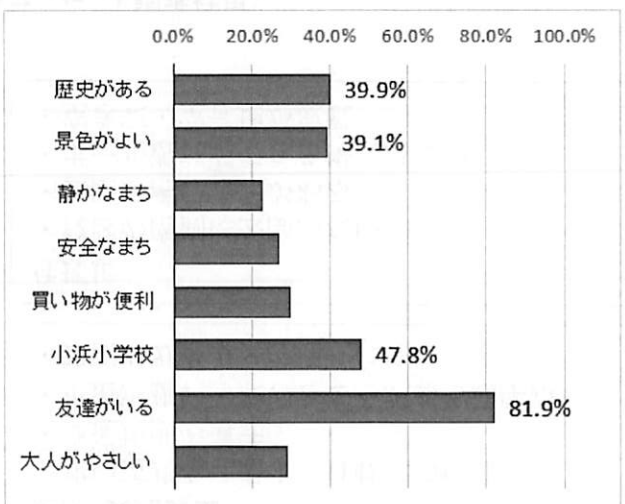


資料：各年 3 月末日　住民基本台帳（まち協別集計）

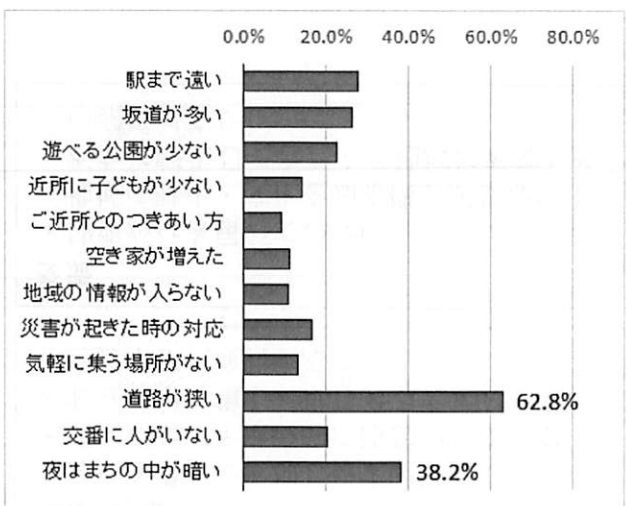
地域のよいところ
（2018 年大人向けアンケート調査結果）



（2018 年小学 5・6 年生アンケート調査）



地域の困ったところ
（2018 年大人向けアンケート調査結果）



○自由回答・座談会、分野別検討で出された地域の主な課題

防災
- 自治会が組織されていない地区がある
- 自治会加入世帯が半数以下
- 自主防災会が組織されている地区は少ない
- 一人ひとりの防災意識の向上が不可欠

道路・交通安全
- 狭い道路を通過する自動車の増加
- 交通規則の遵守
- 歩道が狭い・ないところがある通学路
- 路面がガタガタで通りにくい歩道

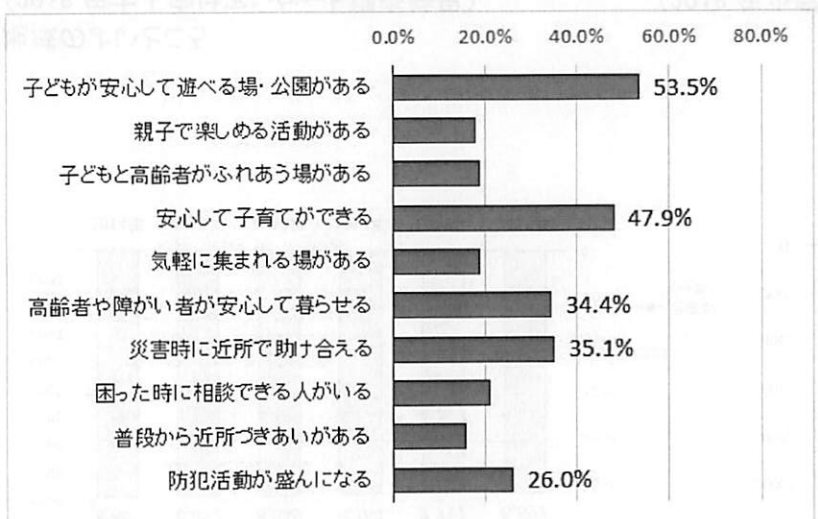
福祉・人権
- 身近な場所で参加しやすい場づくり
- サロンなどを継続的に運営のノウハウ
- お互いを尊重し、助け合うために必要なことを学び・検討すること

防犯
- 河川沿いや社寺、病院等の施設、公営住宅、緑地などに人の目が行き届かない場所がある
- 街灯が少なく暗い場所

住環境
- 校区の南側に公園がない
- 公園が汚いことがある
- ボール遊びができる場所がない
- 空き家・空き地が放置

交流
- 情報が行き届いていない
- 地域の歴史・文化を知る機会が少ない
- 新たに転入してきた人が地域に参加しやすい環境づくり

どんな地域になったらよいと思うか（2018 年大人向けアンケート調査結果）



【地域（まち）の将来像】

自主と自立のまちづくり　小浜

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、一人ひとりの人権が守られ、尊重されていることが重要である。そのためには、福祉教育・人権教育の充実が求められる。小浜小学校区には、福祉と人権に関する施設が充実している。これらの施設が、世代を超えた住民の交流や学習の場として活用されることが大切である。いつまでも小浜小学校区に住んでいたい・住み続けたい地域になり、公共施設・道路・防災面でも安全で快適な生活ができる地域になるようにしたい。

【基本目標】

災害に強く、みんなで助け合えるまち

大雨や台風は毎年起こる。一人ひとりが防災意識と知識を高めることが重要である。隣近所で声を掛け合って安否確認をする、避難行動を起こすことを共有し、災害発生時に実践していくために、日頃からご近所で顔の見える関係づくりを行うことが必要である。災害対策に役立つ情報を共有し、いざという時に適切な判断・行動ができるように、学習会や訓練などに取り組む。

犯罪がないまち

小浜小学校区は静かなまちだが、ひと目が行き届かない場所があり、夜間、街灯が少ないために暗い場所も多い。自治会やさまざまな団体によるパトロール活動を継続するとともに、校区内の安全点検を定期的に行い、草木の繁茂などにより死角ができないよう環境改善を関係者にお願いしていく。住民同士で挨拶をし合い、一人ひとり地域に目を配ることを校区の運動として展開し、不審者が入ってきにくいまちづくりを進める。また、近年多発している消費者詐欺やインターネット犯罪などについて、みんなで気軽に参加できる学習機会をつくり、防犯意識の向上に努める。

人にやさしく、みんなで交通規則を守るまち

狭い道路を通り抜けのために利用することがないよう、市と連携して道路のあり方を検討し、安全なまちづくりを進める。危険だと思われる箇所について、交通安全施設の整備等の要望を出していくとともに、歩行者も自動車もそして自転車もそれぞれに交通規則を守って、安全に移動できるまちにしていく活動を強化する。

緑がゆたかできれいなまち

子どもたちが想い描く「花と緑が豊かで、ゴミのない、きれいなまち」「のびのびとボール遊びができる場所」づくりのために、自治会等での清掃・緑化活動を行う。また公園や緑地、公共施設などを見直し、一人でも多くの人が環境整備に参加し、また地域資源を活用してもらえるような場づくりを進める。

お互いさまがあふれる優しいまち

サロンや健康づくりのような活動は、継続的に参加してもらうことに意味があり、そのためにも高齢者が自宅から歩いて参加できる場所で開催することが望まれる。さまざまな取り組み事例から、より主体的に楽しく運営していくノウハウを学び、今後も取り組みの輪を広げる。また、小浜小学校・小浜幼稚園・小浜小学校区人権啓発推進委員会では、人権教育に力を入れており、引き続き人権を守る学習会を開催し、差別のない、お互いを尊重し合う地域づくりをめざす。

校区には未組織の自治会が多く、地域の行事や活動のお知らせが届いていないこともある。情報伝達を工夫し、いろいろな場があることを知らせる取り組みを進める。

生活にはさまざまなニーズがあり、公的なサービスの対象外や民間のサービスが行き届きにくいこともある。ちょっとした日常のことなら、気軽にお手伝いをお願いし合える助け合い活動についても検討し、誰もが安心して暮らせるまちをめざす。

多世代で交流できるまち

米谷・小浜には、さまざまな歴史資源が残っている。神社のまつりやだんじりなども継承されている。歴史のあるまちであることが、校区の魅力だと考えている人は多いが、それを「見る・知る機会」は限られている。ここで育つ子どもたちが、身近な地域の歴史・文化を体験し、そこから視野を広げ、より多様な文化や生活習慣などへの理解へとつながることを願っている。

校区で暮らすさまざまな人がお互いに知り合うことを意識して、さまざまな行事・活動を企画・運営していく。また、より多くの人が知恵と力を出し合って、より良い場をつくりあげることをめざす。

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦） 20年	第６次総計 21年	22年	23年	24年	25年	役割分担（協働の領域） ①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	備考
1. 災害に強く、みんなで助け合えるまち	**1. 水害対策の充実**													
	1 河川の清掃・管理	○		→	→	→	→	→				○		自治会、市（県・国）
	2 排水設備の充実	○		→	→	→	→	→				○		自治会、市（県・国）
	2. 防災意識の向上													
	1 防災学習会の開催	○		→	→							○		まち協、自治会、市、消防署
	2 校区防災訓練の実施	○		→	→	→	→	→				○		まち協、自治会、市、消防署、事業所
	3. 防災体制の強化													
	1 小浜防災会議の開催	○		○							○			まち協、自治会
	2 まち協防災部会の立上げ・運営		○		→	→	→	→	→		○			まち協、自治会
	3 自主避難等防災の仕組みづくり（備蓄、情報収集・伝達方法など）		○		→	→	→	→	→		○			まち協、自治会
2. 犯罪がないまち	**1. 地域の防犯向上活動**													
	1 あいさつ運動	○		→	→	→	→	→				○		小浜小学校、小浜小PTA、コミュニティ・スクール
	2 防犯パトロール	○		→	→	→	→	→				○		防犯部、小浜小学校園安全対策委員会
	3 安全点検のポイント検討・共有	○		○								○		まち協、警察署
	4 安全点検		○		→	→	→	→	→		○			防犯部
	5 すみれ子ども安全マップの更新	○					→	→				○		小浜小学校、小浜小PTA、まち協
	6 情報交換会の実施	○		→	→	→	→	→				○		小浜小学校園安全対策委員会
	7 危険箇所の改善・要望	○		→	→	→	→	→			○			自治会、小浜小学校園安全対策委員会

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦） 20年	第６次総計 21年	22年	23年	24年	25年	役割分担（協働の領域） ①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	備考
2. 犯罪がないまち	**2. 見守り活動**														
	1	登下校の見守り活動	○		→	→	→	→	→	→		○			小浜小PTA、自治会、まち協、老人会、補導委員
	2	防犯カメラの設置の検討		○	→							○			まち協
	3. 啓発活動の強化														
	1	防犯学習会の開催	○		→	→	→	→	→	→			○		サロン、各種集会
3. 人にやさしく、みんなで交通規則を守るまち	**1. 道路の危険箇所の改善**														
	1	通学路の点検・改善要望	○		→	→	→	→	→	→			○		小浜小学校園安全対策委員会、まち協
	2	道路の危険箇所の点検・改善要望	○		→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会
	3	クリーンセンターの建替えや国道整備に伴い、歩道の整備を要望		○	→	→	→	→	→	→			○		安倉・美座まち協との連携
	2. 道路の安全点検														
	1	安全点検のポイントの検討（現場確認、点検ポイントの学習等）	○		○							○			まち協、自治会
	2	危険箇所情報の共有	○		→	→	→	→	→	→		○			自治会長連絡会議
	3. 道路の整備														
	1	小浜宿内の通過交通対策の検討	○		→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会
	2	小浜交差点の改善方策の検討（歩道拡幅、スクランブル交差点等）	○		→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会、宝塚警察署
	4. 交通安全運動の充実														
	1	運転者への啓発活動	○		→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会、宝塚警察署
	2	「ゾーン30」の路面表記の要請	○		→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会
	3	交通安全教室の開催（自転車、高齢者・歩行者向け）		○	→	→	→	→	→	→			○		まち協、自治会、小浜小学校、宝塚警察署、宝塚交通安全協会

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦） 20年	第６次総計 21年	22年	23年	24年	25年	役割分担（協働の領域） ①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	備考
4. 緑がゆたかできれいなまち	**1. 啓発活動の充実**														
	1	美化啓発活動の実施	○		→	→	→	→	→	→			○		自治会
	2	緑花啓発活動の実施		○	→	→							○		
	2. 地域の住環境管理の充実														
	1	地域清掃・管理活動の実施	○		→	→	→	→	→	→			○		自治会
	2	公園の利活用の検討（安全性向上、利用促進案等の検討）		○	→	→							○		まち協、自治会
	3. 生活利便施設の充実														
	1	公共施設の有効活用の検討		○	→	→							○		まち協、自治会
	2	首地蔵等、地域資源の利便性の向上（バリアフリー化の検討、等）		○			→	→	→				○		まち協、自治会
5. お互いさまがあふれる優しいまち	**1. 高齢者等の見守り事業の充実**														
	1	（専門家による）はつらつ相談窓口の開催	○		→	→	→	→	→	→		○			福祉部、民生・児童委員、包括支援センター・社協と連携
	2	見守り活動の実施	○		→	→	→	→	→	→		○			自治会、民生・児童委員、事業所
	2. 居場所づくりの充実														
	1	自主活動の推進	○		→	→	→	→	→	→		○			まち協、自治会他自主運営のクラブ活動
	2	サロンの開催	○		→	→	→	→	→	→		○			福祉部、サロン運営者
	3	サロンの増設に向けた勉強会等の開催		○	→	→	→	→	→	→		○			社協と連携
	4	障がい者との交流・参加の場の充実	○		→	→	→	→	→	→		○			まち協、クラブ活動、社協と連携
	5	ネットワーク会議の開催・拡大	○		→	→	→	→	→	→		○			社協と連携

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦） 20年	第６次総計 21年	22年	23年	24年	25年	役割分担（協働の領域） ①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	備考
5. お互いさまがあふれる優しいまち	6	健康づくり教室（百歳体操、ラジオ体操を含む）の開催	○		→	→	→	→	→	→			○		健康部、青少年部 自治会
	7	スポーツを通じた仲間づくり・健康づくり	○		→	→	→	→	→	→					スポーツクラブ21小浜
	3. 青少年の居場所づくり														
	1	「ラッコ教室」への協力	○		→	→	→	→	→	→			○		小浜幼稚園、青少年部
	2	こはまミニじどうかんの実施	○		→	→	→	→	→	→			○		青少年部、児童館・社協と連携
	3	フリースペース「わ」の実施	○		→	→	→	→	→	→			○		
	4	中高生タイムの実施	○		→	→	→	→	→	→			○		
	4. 人権学習の推進														
	1	人権学習の実施	○		→	→	→	→	→	→			○		小浜小学校、小浜幼稚園、小浜小学校区人権啓発推進委員会、まち協、自治会連合会、自治会ネットワーク会議
	2	解放文化祭	○		→	→	→	→	→	→			○		まいたに人権文化センター
6. 多世代で交流できるまち	**1. まちの歴史を活かした交流の充実**														
	1	案内板の点検、更新・新設	○		○			○				○			まち協
	2	校区内ウォークラリーの実施	○			○			○			○			まち協
	2. 多世代交流事業の実施														
	1	小浜宿桜まつりへの協力	○		→	→	→	→	→	→	○				小浜宿桜まつり実行委員会
	2	大堀川さくらまつり	○		→	→	→	→	→	→			○		大堀川桜の会
	3	地域イベントの実施・協力	○		→	→	→	→	→	→		○			まち協、自治会、PTA
	4	各自治会行事	○		→	→	→	→	→	→		○			自治会

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦） 20年	第６次総計 21年	22年	23年	24年	25年	役割分担（協働の領域） ①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	備考
6. 多世代で交流できるまち	**3. コミュニティ・スクールづくり**														
	1	活動への参加・協力	○		→	→	→	→	→				○		主体：小浜小学校
	4. 自主・自立のまちづくり人材の育成														
	1	研修バスツアーの実施	○		→	→	→	→	→			○			まち協、自治会
	5. 地域情報の発信の充実														
	1	地域広報紙による情報発信	○		→	→	→	→	→			○			まち協
	2	情報発信方法（チラシの設置場所増等）の充実		○	→	→						○			まち協 事業所との連携

【あとがき】

1996（平成 8）年 3 月、小浜小学校区まちづくり協議会が立ち上がりました。まもなく創立から 25 年を迎えようとしています。

「自主と自立のまちづくり」を目標に 2005（平成 17）年にまちづくり計画を策定しました。この度、今後の住民活動の指針となる「小浜小学校区まちづくり計画」を策定するにあたり、小浜小学校 5 年生・6 年生の皆さん、PTA・地域住民・校区内の事業所や医療関係、金融機関等多くの声を反映しました。

いつまでも住んでいたい「安全で安心」の小浜小学校区となるよう、①災害に強く、みんなで助け合えるまち、②犯罪がないまち、③人にやさしく、みんなで交通規則を守るまち、④緑がゆたかできれいなまち、⑤お互いさまがあふれる優しいまち、⑥多世代で交流できるまち、を目標にまちづくり計画を見直しました。

小浜小学校区にお住いの皆さんが熱い思いをもって生活されていることがアンケートや話し合いの中で感じることが出来ました。

宝塚市第 6 次総合計画に私たちの思いが盛り込まれ、小浜小学校区がこれからも安心・安全で、いつまでも仲良く生活出来ることを願っております。

最後に、「まちづくり計画見直し」に関して、貴重なご意見・ご協力いただいた皆さんに感謝いたします。

まちづくり計画見直しに関する取り組み

2018(平成 30)年 1 月～ 2019(令和元)年 12 月 (毎月 1 回) まちづくり計画見直し会議	2018(平成 30)年 10～11 月 小浜小学校児童・保護者 アンケート調査	2018(平成 30)年 10～11 月 校区に立地する事業所 アンケート調査	2018(平成 30)年 10～12 月 意見交換会の開催 まいたに人権文化センター 小浜まち協会館 池ノ島住宅集会所	2018(平成 30)年 10～12 月 行事・意見交換会の 参加者アンケート調査
2018(平成 30)年 8 月 身体・知的・精神障がいの当事者・保護者との情報交換会	2019(令和元)年 7 月 防災に関する勉強会 出前講座：総合防災課 参加者：まち協、自治会長等	2018(平成 30)年 1 月～ 2020(令和 2)年 1 月 「まちづくりの輪」にて 経過報告・ご意見募集	2019(令和元)年 10 月～ 「自治会長等連絡会」にて 説明・意見交換会	2020(令和 2)年 2 月～ まちづくり協議会理事会 住民説明会 にて説明・意見交換会

まちづくり計画見直しに参加して下さった方々

まちづくり計画見直し会議

藤本真砂子	壹岐　收一	佐竹　文明
松林　春夫	伊藤　峯夫	谷添美也子
達　　美奈	高尾　宏子	秦　　忍
吉村　雅子	鐵野美智子	中田　淳一
合田　康子	下村　啓三	坂本　正己
川尾　　章	仲　　昭三	福田　喜一
長田　恭子		

2018・2019 年度小浜小学校 PTA 代表
宝塚市保健福祉サービス公社
宝塚市社会福祉協議会
小浜地域包括支援センター　　(敬称略、順不同)

まちキョン

アンケート調査

2018 年小浜小学校 5 年生・6 年生児童 138 名
2018 年小浜小学校在校児童保護者 214 名
小浜小学校区在住・在勤者（行事・意見交換会参加者）74 名

事業所調査

JA 兵庫六甲宝塚支店	宝塚寿郵便局
宝塚第一病院	宝塚リハビリテーション病院
宝塚市立病院	さだおか歯科医院

介護老人保健施設ステップハウス宝塚
宝塚市保健福祉サービス公社生活援助員派遣事業（LSA）
小浜地域包括支援センター

池ノ島デイサービスセンター	介護ファミリーサポートセンター
ステップこはまケアプランステーション	ステップいけのしまケアプランステーション
ステップこはま 24h ケアステーション	ステップこはまヘルパーステーション

ステップこはま訪問看護ステーション
他、金融機関、小売店舗等 13 事業所

【資料】

まちづくり計画見直し会議で検討した課題への対応に関する覚書

防災

・まち協に防災部会を立上げ、校区全体での防災を考える。
・毎年水害が発生する向月町のため、早期に避難所が開設できるよう、校区全体で防災体制づくりを進める。
・非自治会員、自治会未組織地域に対して、災害時対応に関する情報発信を強化し、地域としての対応を共有していく。
・校区の南北の情報共有のあり方や、避難行動などについて協議し、地区防災計画としてまとめていくことを目標とする。
・具体的な取り組みについては、まち協防災部会のメンバーにおいて再検討する。

防犯・危険箇所の改善・道路環境の改善

・小浜小学校園安全対策委員会と連携し、地域全体の危険箇所の点検、共有化を図り、改善に向けた取り組みを進める。
・各団体が実施しているパトロール時に、地域の危険箇所点検も実施する。
・空き家・空き地の適切な管理・活用に向けて、課題や各自治会等の取り組みを共有する。
・狭い道路の通過交通を減らす工夫を市と地域が協働して検討する。

公共施設・地域資源の利活用

・公園の活用状況、清掃・緑化活動などの現状を把握し、整理する。
・公園が地域の憩いの場となるよう、利用方法を再検討する。
・避難所となる学校や公園、首地蔵などの高齢者が利用する場所が物理的にも利用しやすいものとなるよう、バリアフリー化などを検討する。

健康・福祉

・高齢者の増加に伴い、見守り・支え合いのあり方、具体的な体制づくりを社協や公社、地域包括支援センター、立地している事業所と連携して検討していく。
・行事に参加していない高齢者や障がい者が参加しやすい場づくりを工夫し、個別に参加を呼びかけるなど、細かな対応を進める。

歴史・文化

・地域が継承している歴史・文化を子どもや若い世代、新しく転入してきた人が知る機会を充実する。

人権・教育

・活動している諸団体が連携して、「人権」について学び・考える場を充実する。
・小学校・園、PTA 等と連携して取り組んでいる児童の見守りなどの諸活動をベースに、コミュニティ・スクールを通じて活動団体間の連携を強化する。